THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2013-2014)

国　際 主題　:"Go Ye Into All The World""全ての世界に出て行こう"
ア ジ ア主題　:"Start　Future　Now""未来を始めよう、今すぐに"
西日本区主題　:"志を持って例会に参加し、学びの機会を持ちましょう"
中 西 部主題　:"ワイズの価値を見直そう"
ク ラ ブ主題　:"大人の女性を目指して共に歩もう"

第 206 号
2014 年 3 月

聖書のことば

言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。 光は暗闇の中で輝いている。 暗闇は光を理解しなかった。

（ヨハネによる福音書１章４～５節）

選者　吉岡　香代子

３月第１例会プログラム

日時 ： 2014 年3月12日（水） 18：30～20：30
場所 ： ホテルグランヴィア大阪

司会　大岸　弘子

１.開会点鐘　武井　和子会長
２.ワイズソング
３.聖句朗読　吉岡　香代子
４.ゲスト、 ビジター紹介　武井　和子会長
５. 卓話
「２万個の薬のタネから１個の新薬が誕生する」
中江　裕子さん（神戸薬科大学特任教授）
６.連絡 ・ 報告 ・ ニュース
７.お誕生祝い
８.YMCA の歌
９.閉会点鐘　武井　和子会長

例会当番 ：（A班）　受付当番 ：（D班）

中江　裕子（なかえ・ひろこ）さんプロフィール

京都大学大学院薬学研究科修了後、 神戸女子薬科大学薬剤学研究室勤務。 その後、 国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、 医薬品副作用被害救済 ・ 研究振興 ・ 調査機構を経て、 現在　神戸薬科大学特任教授。

２月オープン例会報告

国際事業に関心を

渡辺　宏子

前日の雪のお天気から青空の見える時もある２月15日（土） の午後、 久しぶりのオープン例会がYMCA10階チャペルで持たれました。

趣旨は 「ロールバックマラリアの推進」 「ワイズの国際活動への理解を深める」。

雪の東京から雪をかき分けて靴下まで濡らして、元国際会長・東京江東クラブの藤井寛敏さんが、 私たちのために来て下さりお話をしてくださいました。 会員が女性ばかりである、なかのしまクラブを励まして下さる言葉から話を始めてくださったことは、オープン例会を初めて経験し、 たくさんのお客様と例会を守った私にとって、 この会で経験していくことの大切さを思いました。 国際ワイズの現状と課題及び取り組みには、 私たちの知らない世界をのぞかせて下さった気がしました。

ロールバックマラリアの推進は、 私たちも例会で学んだ後でもあり、 モスキートネットの配布することに力を、 募金のアイディアについてのお話には、 私たちは出来ることからという思いをより強くしました。

質疑でアメリカにおけるYMCA とワイズの関係についての藤井さんのお答えには、 ワイズとクリスチャンとの

【次頁に続く】

２　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		BF　統計			
メンバー	14 名	出席者	14 名	日本	220 g	累計	1005 g
ビジター	33 名	メイキャップ	2 名	外国	12 g	累計	17 g
ゲスト	13 名	合　計	16 名	現金	円	累計	円
コメット	1 名	在籍者	18 名	提供者 ： 今井、 江見、 桑原、 杉浦、 武井、 藤好、 吉田、 渡辺			
合　計	61 名	出席率	89%				

関係を、 移民の多い国として、 セレモニーではクリスチャンの意識をなくすようにしているという。
私たちワイズの働きの中心について考えさせられました。 また、 国際事情に関心を持つことの大切さも感じました。 会員を増やして働きを強くすることが求められた気がします。 メンバー含めて61名がこれから活動していくうえでの思いを深くしたひとときでした。

参加者の感想などの抜粋

○宗教・クリスチャンの会のように思っていましたが、今日の講演でワイズメンクラブの趣旨や活動がよくわかりました。国際貢献・ロールバックマラリア運動に敬意を表し、一日も早く感染が食い止められるように願い、感染症の一つの原因は貧困である事を思います。戦争・紛争など多くの問題の解決と生活環境の向上が大切だと思います。

○世界のワイズの流れがよくわかりました。世界的にワイズは高齢化している現状です。どのようにして若者を入れるかが問題になっているが、ワイズのプログラム内容が若者に受け入れられるよう検討すべきである。

○時々ビジターで参加しております。地道な取り組みを通して成果を出されていることに敬意を表します。さまざまな活動の共通の悩みに参加者の減少があり、ワイズもそうだということを知りました。蚊帳１セット800円という具体的な事実を全面に使ってキャンペーンし、募金の効果を訴えることが可能だと感じました。

○どうしても、日々のワイズの活動をしていると国際との関わりが見えてこない。少しでも国際とのかかわりを感じることができるしくみを考えたいと思う。今日のような話を聞く機会を持つことが大事であると思いました。

藤井元国際会長をお迎えして　　生雲　文枝

２月１５日、 前日大阪ではめずらしい積雪で、 東京からの新幹線に遅れがでないことを祈りつつ、 オープン例会を迎えました。

幸い藤井元国際会長と小松東日本区事務局長は定刻通りに到着されました。 ノルウェー国際大会でお会いして以来、 ずっとワイズの “国際事業” について、 藤井元国際会長にお話しをしていただきたいと願ってきた私にとって、 本当に光栄な時間でした。 藤井さんはわかりやすく、 国際ワイズの現状を話してくださいました。 世界72ヶ国、 約30,000名のメンバーがいること、 ジュネーブにある国際本部の様子、 国際議会が１年に１回開かれること、 国際本部の金融資産は４億円であることなどユーモアを交えて話されたので、 あっという間に時間が過ぎてしまいました。

藤井さんが国際会長の時に始まったロールバックマラリアは５年間で50万スイスフランを目標にしており、 まだ道半ばです。 私がとても面白いなと思ったのは、 国際会議の時、 国際議員は通訳を連れて行きますが、 議員が皆、 勝手に話すので通訳が出来ず、 通訳の人はさっさと遊びに行ってしまうそうです。 また、 海外のワイズメンは介護が終わったからとか、 仕事が一段落ついたからとかの理由で、 気軽に国際議員に立候補されるそうです。是非、 西日本区からも国際議員に手を挙げる人が出て欲しいとおっしゃっていました。

会に参加された方は皆、 国際のことが勉強になったと満足して帰路につかれました。 雪のなか、 講演にお越しいただいた藤井元国際会長と小松東日本区事務局長、 本当にありがとうございました。

☆☆

アジアユースコンボケーション報告
吉岡　香代子

昨年８月フィリピン ・ マニラで開催されたアジアユースコンボケーション （AYC） に西日本区から参加したメンバー12名。その報告会が2014年１月25日（土）午後１時よりホテルクライトン新大阪であった。

今回は参加メンバー１５歳～３０歳のワイズメンのご子息と各YMCAリーダーやスタッフ１０名の報告を受けた。 参加者はそれぞれに素敵な発見を知り、 新しい出逢いがあり、 自分の無限の力を感じる場であり、 日本では感じることが出来ない時間が持てたことを、 若者らしく熱く熱く感動したことを話された。

初めて参加したメンバーや何回か参加しているリーダーたちは全員がまた是非参加したいと希望していた。 参加メンバーが同じ人、 再度参加したいのはわかるが他のユースメンバーもどしどし参加してほしい。 各ワイズメンズクラブも参加を勧める体制を作る必要があると感じた。

今年のインドでの開催予定である国際大会 （IYC） をワイズメンとして応援しようという気持ちを持った。

会の終わりにお世話になったワイズメンにユースメンバーがお礼の言葉を贈り、 感激のあまり目がしらを熱くされていた。

お仕事会＆会場下見新年会
杉浦　眞喜子

春のように暖かな１月25日 （土） 我がクラブの 「お仕事会」 と 「新年会」 が持たれました。 「お仕事会」は、 午後２時より大阪YMCA ５F 501 教室で。 この「お仕事会」、 実は中古衣料販売会。 中古と言ってもほとんど新品、 Made in Italy のセーターやアンサンブル、コートや靴、 バッグもありました。 大にぎわいのセール会場さながら。 売り上げより必要経費を引いた27,000円がクラブファンドに寄付されました。 提供して下さった方に感謝しつつ、 みんな大満足で、 「新年会」 の会場、 ハイアットリージェンシーホテルに向かいました。

午後５時、 ホテルで現地直行の４人と合流して、 まず来年６月の第18回区大会の会場見学ツアー。 ホテルの担当の方に、 式典、 懇親会のメイン会場、 前夜祭会場などを案内して頂き、 「うわあー、素敵！」 の連発、ちょっぴりおしゃれな大会のイメージを大きく膨らませることができました。 「新年会」 は23F のチャイニーズレストラン 「天空」 へ。 思わず歓声をあげてしまう夜景を眺めながら、 飲み放題の飲み物と、 おしゃれで美味しい中華のお料理が用意されていて、 武井会長音頭での乾杯。 後は心ゆくまで、 飲んで、 食べて、 おしゃべりをして、 心もお腹もしっかり満たされた夜でした。

大阪南港物語

吉田　由美

其の三 「南港の飛行場」

1903年 （明治36年） のライト兄弟の飛行成功から17年後1920年には逓信省に航空局が新設され、 1929年 （昭和４年） に木津川尻、 現在の大正区船町に木津川飛行場が開港します。 その後木津川飛行場は日本で最初の公共用飛行場となり定期便が就航しています。

昭和13年には年間発着数が国内飛行場のトップクラスになりますが、 飛行場面積の狭さ （約23ha、 現在　八尾空港の1/3、 伊丹空港の1/14、 関空一期工事の1/22） や周辺の障害物、 工場の煤煙の問題もあり、西側に埋め立てが進んでいた咲洲 （南港） に国際飛行場として移転する計画が進んでいました。 工事は順調に進んでいくかに見えましたが戦争が始まって中断し、 その当時予備飛行場だった伊丹空港が発展して計画は消えてしまいました。 戦争が無ければ南港は 「大阪国際空港」 として今とは全く違う景色になっていたのかも知れません。 伊丹空港や関西国際空港も現在の地にはなく、 南港全体が極東地域のハブ空港となっていたかも知れませんね。

南港は戦後の昭和32年 （1958年） になってようやく埋め立て工事が再開され、 工事から25年をかけてほぼ現在の形になり、フェリー埠頭やコンテナ埠頭、 ポートタウン、 野鳥園などが、 また南港南地区には魚つり園や海水遊泳場などが完成していきました。

平成６年 （1994年） にはATC ［アジア太平洋トレードセンター］ が、 翌年の平成７年 （1995年） にはWTC ［大阪ワールドトレードセンター］ が開業しました。 平成９年には港区と結ぶ 「大阪港咲洲トンネル」 も開通し、 さらに便利になっています。

歴史に 「もしも……」 は無いと言いますが、 ここ数年のベイエリア発展の加速には目を見張るものがあり、 想像する南港国際空港の存在よりも想像できない規模の発展が待っているように思えます。

旧約聖書もおもしろい －9－

江見　淑子

＜ アブサロム　アブサロム！！ ＞

神に愛され、 美貌と才能に恵まれている筈のダビデは旧約聖書の列王記から様子が変わります。 歴史記述者の視点が跡継ぎであるソロモンの立場に移ったのではないかと言う解説に私は納得しました。

王位継承のための権力争い、 性的エネルギーの行方、 ナンバー２の暗躍と大河ドラマとお昼のドラマを混ぜたような物語が展開します。 生々しい人間ドラマは切り取り難いのですが、 文学にも取り上げられた人物を紹介しましょう。

アブサロムは王位継承者の２番目で、 長男アムノンを復讐のため殺害しています。 実の妹タマルが、 アムノンに強姦され捨てられたからです。 王宮内の大事件で、 アブサロムは祖父の城に逃げました。

３年の後、 悼むダビデは軍師ヨアブの仲介で赦します。 しかし王宮に戻ることは許しませんでした。 アブサロムはヨアブへの恩を仇で返す行状の後、 民心をつかむ準備を始めました。 年老いた父に反逆の兵を挙げます。 子煩悩と言うのか、 ダビデはいずれの事件でも優柔不断でした。 城を明け渡して逃げましたが形勢を見据えた者の力が増し、 アブサロムは敗れます。 何とも印象的な最期でした。

アブサロムの美貌は非の打ち所がなく、 長く美しい髪の持ち主でした。 戦いの中で自慢の髪が樫の大木に絡まって宙づりになり、 ダビデ軍の長 ・ ヨアブが棒で突き刺します。 いかに謀反人であっても王子を殺すことができない部下の判断は難しいものです。 ダビデは 「ああ、 わたしの息子アブサロムよ、 わたしの息子アブサロムよ。 わたしが、 お前に代わって死ねばよかった」 と嘆き、 勝利は喪に代わります。 部下の面目が立ちませんね。

ヨアブに知恵を貸したプロの交渉人 「テコアの女」 については次号にしましょう。

交流活動記：他部会・他クラブ例会訪問

☆今井利子

京都トゥービークラブ親子３クラブ合同例会

1月8日 （水）

新年はじめての例会に出席。

ゼロクラブ竹園会長の開会点鍾、 トウービークラブ吉田会長の挨拶、 鏡割りで盛り上がり、 ウィングクラブ奥村会長の乾杯、 役割分割の後は食事歓談。 100名近い出席者は部会さながらです。

ゆっくりとご挨拶、 近況報告などをかわしつつ、 伝言ゲーム、 書初めなど楽しみました。 若いメンバーも多く元気いっぱいです。 最後に全員で記念撮影をしました。

☆国友朝子

京都センチュリークラブ新年例会　1月8日 （水）

３年ぶりです。

この日は京都部の部長訪問の最後を飾る日であり、 例年どおり落語があるし、 新メンバーの入会式もある、 とても賑やかな日でした。

落語は桂　歌之助師匠で、 茶道をテーマにしたもの。 題は忘れましたが、 知ったかぶりは散々な目に遭う！というお話。 爆笑というよりはクスクス笑いで本来の落語らしい雰囲気でした。

８日といえば松がとれたばかり、 また新年例会とあってお料理はまだお正月気分です。 数の子、 ごまめ、 黒豆、 なます等々。 ほかにも豪華な品も並んで大満足。 私は 「笑門来福」 例会をめいっぱい楽しみました！

《《《《《《 お知らせ 》》》》》》

◎浅井洋子さん （藤好さん友人） から、 BF使用済み切手をいただきました。 感謝。

ニコニコ献金　2月　14,500円

《ニコニコメッセージ》 －2月例会－

☆ノルウェーで講演をお願いしてから、 もう１年以上になります。 藤井元国際会長のお話しで、 ワイズの国際のことが身近に感じられるようになりました。 （生雲）

☆昨日の大雪の中、 有意義なオープン例会が開かれ嬉しく思っています。 いま、 何が大切か、 私たちはひと廻り世界を見て考えたいと思いました。 世界中の人の幸せを願って。 （今井）

☆いつものように、 気持ちよくみんなで働けました。 こんな時駆けつけてくれる友人はありがたいですね。 （江見）

☆国際に関わりのあるワイズメンとして、 改めて関心を寄せていきたいと思う良い例会でした。 （大岸）

☆久々のオープン例会に友だちが来てくれました。 その上、 コンサートの予約も！ 夕ご飯をいっしょにして長い時間おしゃべり。 楽しい一日でした。 （国友）

☆いつもなら大喜びの雪景色なのですが……。 （桑原）

☆藤井元国際会長のわかりやすいお話に、 ワイズ国際を身近に感じました。 ユーモアある優しいお人柄にも感激しました。 （高橋）

☆金曜日の大雪で宝塚は真っ白の雪景色。 土曜日のオープン例会の事で頭の中が真っ白でしたが、 神さまがなかのしまクラブを守って下さりオープン例会盛大でした。 皆さんありがとう！ （武井和子）

☆こくさい会長さんが無事つかれてよかったです。 杉浦さんがこれなくてざんねんです。 （武井美帆）

☆昨夜の大雪、 無事オープン例会開催できてよかったです。 国際ワイズの現状、 課題　取組み、 ロールバックマラリア等のお話分かり易くお話しいただき、 ありがとうございました。 （藤井）

☆出席者数もつかめないまま、 お天気も悪く不安でしたが無事に多くの方々と共に藤井元国際会長のお話を聞くことができました。 私達は 『ワイズメンズクラブ国際協会』 の一員であると再自覚いたしました。 （藤好）

☆藤井寛敏氏より国際ワイズの現状、 ロールバックマラリアについて、 その取り組みや運動について話を聞くことができ学ぶことができました。 （松下）

☆何年ぶりかの大雪。 夏は猛暑で冬は極寒、 でも人間は何とか対応して生きるんですね。 でも今年は春、 秋がほしい。 （保田）

☆はじめてのオープン例会の参加です。 たくさんの方が来て下さればいいと願います。 お天気も支えられて感謝でした。 （渡辺）

欠席メッセージ

★せっかくのオープン例会、 欠席してしまい、 すみません！ 藤井元国際会長のお話、 聞かせて頂きたかったのに。 母が亡くなり、 15日あの大雪の日、 東京で葬儀を行いました。 両親は仲の良い夫婦でしたので、 また一緒になれてよかった！と思っています。 （杉浦）

★昭和の初め～戦前の大阪の事や、 女学校当時の話をよく電話で話してくれていた叔母が急逝しました。 南港物語を書く上でもっと聞いておけばよかったと後悔しています。 叔母の口を通して語られる大阪は、 夢とロマンのあふれる街でした。 （吉田）

２月第２例会報告抄

日　時：2014年2月19日（水） 18:30～20:30
場　所：大阪YMCA　504号室
出席者：16名

1. 2月オープン例会 （2/15） について下記報告があり、併せて当日のニコニコ献金（14,500円）を、ロールバックマラリア献金としてささげることとした。
   - 出席者：61名
     なかのしまメンバー14、 コメット1、 他クラブメンバー・メネット33、 一般ゲスト13
   - 会場内募金箱へのロールバックマラリア献金：12,150円
   - 「ふりかえりシート」 への書き込みからも、 比較的高い評価が得られた。
2. NPO法人ゆうハウスチャリティー絵画展実行委員会主催の 「現代国際巨匠絵画展」
   （6/21～23、 於：吹田さんくすホール）
   への後援依頼を喜んで受けることとした。
3. ミャンマーYMCA同盟総主事マンマンウィン氏とのメールのやり取りの紹介があり、 以下が確認された。
   - ミャンマーファンド今年度分 （1,000USドル）を、 土佐堀クラブ奥田氏に託している旨のこちらからのメールに対し、 謝意が述べられ、 また具体的使途予定について記されていた。
   - 11月に郵便小包 （船便） にて送ったミャンマーへの荷物が届き、 またそれに対する謝意が述べられた。
4. 第17回西日本区大会 （6/14、 15　クラブ例会を振替） への参加申込、 クラブ内第1次締め切りを2月末とした。 杉浦書記へ申込みのこと。

◆YMCAニュース◆

第251回 大阪YMCA早天祈祷会

日時：3月14日 （金） 午前7時30分～8時30分
場所：大阪YMCA会館 10階チャペル
証し：牟 大盛 さん
（大阪ワイズメンズクラブ・関西韓国YMCA理事）

土佐堀YMCAクリスマス献金報告

土佐堀YMCAの今期のクリスマス献金は目標額を達成いたしました！ 多くの方々のおかげで、次年度も様々なクリスマス献金プロジェクトを実施することができます。みなさまのクリスマス献金へのご協力、 そして日頃のお支えに、 心より感謝いたします。

２月オープン例会は大雪で混乱する東京から藤井元国際会長がお越しくださり、 感謝の思いでいっぱいになりました。 大雪にハラハラした思いを吹き飛ばし、充実した心地良い時間になりましたね。 高橋京子

《《《《《 お知らせ 》》》》》

BF使用済み切手送付重量と買受金額は、 以下の通り。
国内　2,800ｇ　　外国　270ｇ
買受金額　1,950円

編 集 後 記

日没が遅くなってきました。 けれど全国で雪模様。 しもやけが復活します。 あと少し、 あとすこしで春到来！待ち遠しい日々です。